

「女性の力を社会と組織に活かす」 ～“仕事は絶対手放さない”ための極意～

平成27年2月26日(木)、アリスアクアガーデン東京 銀座店にて、「ディスプレイ塾」プロフェッショナルウーマンPart2「女性の力を社会と組織に活かす」～“仕事は絶対手放さない”ための極意～が開催されました。



日時：平成27年2月26日(木)
会場：アリスアクアガーデン東京 銀座店
講師：古谷治子氏 (株)マネジメントサポート

今回の企画は2年前に「学べる女子会」というコンセプトのもとで開催された「Professional Woman 100」の流れを汲むものでした。

しかし、トークセッションがメインだった前回と異なり、今回は研修としての印象の強いものとなりました。講義の合間にグループディスカッションの時間が取られ、より参加者同士の意見交換が活発に行われていたように思います。

そして、内容は僅か2時間の中で講師の古谷先生の会社で終日コースとして実施しているプログラムのエッセンスをお伝えする濃厚なものでした。

女性のキャリア形成の現状を知り、一般的に女性が持つとされる特質の説明を受け、交流分析テスト(エゴグラム)を行うことで自分自身の性質の確認をすることができました。

現在、政府が「2020年までに指導的な地位に占める女性の割合を30%にする」という目標を掲げ、上場企業を中心にさまざまな取り組みが始められています。

しかし、平成24年度の女性管理職の割合は11.6%と、現状と数値目標の間にはまだまだ大きな乖離があります。

この乖離の理由を、女性を取り巻く外部的な要因と、女性の心の持ちようといった内部的な要因に分けて今回の講義では解説していました。



私が特に印象に残ったのは、内部的な要因として、企業や社会からの求めに女性の気持ちがいまいついていないということでした。

外部的な要因による困難はもちろんありますが、女性自身の意識改革も同時に進めていかなくてはならないのかもしれない。

そういった意味で、今回の企画は「自らの気づきを促す知識と技をインプットする」良い機会になったのではないのでしょうか？

講義の後は、アリスアクアガーデンの美味しいスイーツとドリンクでちょっとした女子会気分を味わいつつ、古谷先生との懇談の時間もありました。

そして、お土産として昨年発売されたばかりの古谷先生のご著書も頂くことができました。

東京ディスプレイ協同組合の参加企業同士の交流企画は様々ありますが、フットサルや野球大会といったスポーツがメインのものが多いため、Professional Woman企画のように女性達が中心となって集まる機会は貴重だと感じました。

Professional Woman企画で再びこのような機会を設けていけたら幸いです。

広報委員 前田奈緒子/株マエダ

